

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会だより



itami August.8, 2022 vol. 244

CONTENTS

vol.244の主な内容

P.2 5月臨時会

P.3 6月定例会

P.3~6... 一般質問

P.7 議案審査

議決結果

P.8 人事

市議会からのお知らせ
議長の活動報告
会議の予定



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。

(通信費は利用者負担になります。)

過去のいたみ花火大会

5月臨時会

令和4年第2回臨時会(5月23日)では、3つの常任委員会及び議会運営委員会委員の選任が行われました。
また、新たに議員定数等調査検討特別委員会を設置し、委員の選任が行われました。
議会の役職と委員名は、下表のとおりです。



- ・常任委員の選任
- ・議会運営委員の選任
- ・議員定数等調査検討特別委員会の設置及び同委員の選任



加藤 光博 議長



篠原 光宏 副議長



山蘭 有理 監査委員

委員会		委員長	副委員長	委員
常任委員会	総務政策	保田 憲司	上原 秀樹	新内竜一郎・高塚 伴子・杉 一・篠原 光宏 永松 敏彦・鈴木久美子・安藤なの香・佐竹 璃保
	文教福祉	川井田清香	高橋 有子	久村真知子・山本 恭子・戸田 龍起・佐藤 良憲 里見 孝枝・岸田真佐人・土井 秀勝
	都市企業	竹村 和人	齊藤 真治	吉井 健二・加藤 光博・北原 速男・山蘭 有理 大津留 求・小西 彦治・花田康次郎
議会運営委員会		戸田 龍起	竹村 和人	上原 秀樹・杉 一・保田 憲司・佐藤 良憲 齊藤 真治・里見 孝枝・大津留 求・川井田清香
特別委員会	飛行場問題対策	里見 孝枝	花田康次郎	久村真知子・北原 速男・戸田 龍起・佐藤 良憲 山蘭 有理・齊藤 真治・川井田清香・小西 彦治 岸田真佐人・永松 敏彦・安藤なの香
	市立伊丹病院検討	高塚 伴子	鈴木久美子	新内竜一郎・上原 秀樹・吉井 健二・杉 一 山本 恭子・竹村 和人・保田 憲司・大津留 求 高橋 有子・土井 秀勝・佐竹 璃保
	議員定数等調査検討	杉 一	岸田真佐人	上原 秀樹・吉井 健二・高塚 伴子・保田 憲司 齊藤 真治・里見 孝枝・小西 彦治・永松 敏彦 鈴木久美子

豊中市伊丹市クリーンランド議会議員

杉 一(副議長)・竹村 和人(監査)
久村真知子・川井田清香・岸田真佐人・土井 秀勝

6月定例会

令和4年第3回定例会(6月7日～28日)では、22人の議員から市政全般にわたり、さまざまな質問がありました。
その一部を紹介します。
なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

- ①会議録検索システム(9月上旬に掲載予定)
- ②本会議中継・録画配信
- ③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨



伊丹市議会 検索



一般質問



脱炭素社会に向けた取組

永松 敏彦 議員



①脱炭素社会に向けた本市の取組は。②昨年度の太陽光発電設備等共同購入支援事業の成果と現状は。



①2050年カーボンニュートラルに向け、本年4月にグリーン戦略室を新設し、「創エネ蓄エネの普及拡大」、「使用電気の脱炭素化」、「環境価値の創造」等、5つの取組の方向性を示し各種事業を展開している。②参加登録者件数は247件で目標を大きく上回る結果となり、また、直近1年間の住宅向け太陽光発電設備の導入件数を約5%押し上げる成果が得られた。今年度は近隣の9自治体と連携して事業規模を拡大し、6月10日時点で、9自治体での参加登録者数は1,000件超となっている。



高齢者等の生活支援に向けた組織づくり

新内 竜一郎 議員



高齢者等の生活支援のため、面的に整備された組織づくりが必要と考えるが、見解を伺う。



第3次市地域福祉計画において共生福祉社会の実現という理念を継続し、さらに重層的なセーフティネットを強化するため、国の新たな事業である重層的支援体制整備事業を活用し、「断らない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に行うこととしている。現在既に市社会福祉協議会に地域づくりコーディネーターを配置し、また、身近な範囲で見守り活動を行うご近所会の実施、地域福祉ネット会議や介護予防拠点づくり事業を行うなど、面的な組織づくりを進めている。



終活支援 伊丹市版 エンディングノートの展開

佐竹 璃保 議員



市ホームページからダウンロードが可能となった第2の人生いきがい作りにつながる「伊丹市版エンディングノート」の今後の活用、展開について伺う。



エンディングノートの活用講座を通じ、参加者が終活について考える機会にするとともに、地域活動や地域社会に参加するきっかけづくりとして高齢者の孤立防止にもつなげたいと考える。さらに、高齢者だけでなく幅広い年齢層の方々がエンディングノートを通じて、ご自身や家族のこれからの人生を前向きに捉え、今後の生き方ややりたいことなどを考えるきっかけとなるよう、市ホームページやSNSにおいても積極的な周知、啓発を図っていく。



学用品購入による経済的負担

高橋 有子 議員



各家庭で、制服や物品などの学用品や部活用品を用意できない場合、各学校に相談すれば個別に対応するとのことである。制服や部活用品が高いため、経済的な状況によって、苦しんだり、選択の幅が狭められている現状について、教育長の見解を伺う。



公教育においては、経済的理由により、子どもたちの学びや育ちが制限されるようなことはあってはならない。市教育委員会としては、家庭の経済状況によって教育格差が生じないように、国の臨時交付金の活用や就学援助制度の促進、また、学校に対しては、教育活動における保護者の経済的負担が過重なものにならないよう指導していく。



物価高騰による 学校給食への影響

北原 速男 議員



問

物価高騰の状況が続く中、給食費への影響は。また、学校給食を安定的に提供するため、国の臨時交付金を活用した対策に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

答

従来から食材の価格が高騰した場合には、使用する食材の変更や、年間・学期契約などで安定した価格での食材購入等ができるように対応している。また、臨時交付金の活用については、国の示す趣旨を十分に踏まえ、食材価格高騰による影響を保護者負担に転嫁せず、学校給食を円滑に提供することが重要と考えており、今後の食材の価格動向を注視し、対応を検討している。

▶6月24日に追加議案が提出され、市内施設で実施されている学校給食等食材調達に対する支援補助が可決されました。



児童くらぶでの 試行的な昼食提供

川井田 清香 議員



問

今年の夏休みに、希望者に対して試行的に昼食が提供されるが、①利用者への周知内容は。②試行実施に向けた児童くらぶ支援員との協議状況は。

答

①夏休み期間中の8月22日から26日までの5日間に実施すること、保護者負担を1食当たり350円とすること、アレルギー対応食ではないことなどを周知した。6月下旬に、メニュー提示とともに、児童の喫食希望調査を実施予定である。②利用児童数の多い児童くらぶでは、支援員と現場目線での実施手法の検討や、配膳・喫食場所・検食についてなどの課題抽出を行っている。事業者決定後は、配送・搬入等の動線の協議を行う予定である。



新型コロナ特例貸付 ～償還が困難な方への対応～

大津留 求 議員



問

新型コロナ特例貸付の償還が難しい相談者への対応は。

答

まずは、対象者が返還免除規定に該当するかどうかを、本人が該当しないと思っている場合も含め、改めて確認する。一方で、厚生労働省では、免除の要件に該当するのは貸付利用者全体の3割程度と想定しており、他の多くの利用者は来年1月以降、最大で10年をかけて償還する必要がある。その中で、免除規定には該当しないものの償還が難しい生活困窮者に対しては、くらし・相談サポートセンターにおいて、返済をしながら安定した生活ができるよう寄り添いながら、丁寧な支援を実施していく。



リトルベビーハンドブック の活用

山本 恭子 議員



問

県のリトルベビーハンドブック^{*}の運用開始まで、ブックに記載された情報の提供や、発育曲線・成長記録が書き込めるようなものが必要と考えるが、見解を伺う。

答

リトルベビーハンドブックの完成までは、極低出生体重児の保護者向け小冊子の配付を検討している。これには、お子さんを自宅に迎える際の準備や、出生日でなく出産予定日を基準とした発育曲線の活用、修正月齢による発育曲線の活用等、悩みを抱え込まないようにアドバイスが記載されている。今後も低出生体重児を持つ保護者に寄り添い、安心して子育てができるよう取り組んでいく。

^{*}リトルベビーハンドブック…1,500グラム未満で生まれた極低出生体重児の保護者のための育児支援冊子



大阪・関西万博を生かした 観光戦略

齊藤 真治 議員



問

万博の波及効果を享受するため、本市の歴史や文化、地場産業等の資源を生かした積極的な取組が期待されるが、本市の観光戦略について見解を伺う。

答

2025年に日本国際博覧会(大阪・関西万博)が大阪市の夢洲で開催される。この万博の効果を関西全体に波及させるため、県では、県土全体をパビリオンに見立て、兵庫五国の多様な地域を周遊する「ひょうごフィールドパビリオン」を展開する予定である。本市においても、日本遺産をはじめ、伊丹ミュージアムなど、市内各所の資源を十分に活用した観光戦略について準備を進め、万博開催が本市の活性化の起爆剤となるよう取り組んでいく。



中学校部活動等における ハラスメント事案対策

保田 憲司 議員



問

スポーツ活動や部活動において、指導者のハラスメント事案をどのように防ぐのか、また、発生した場合の対応策が必要と考えるが、見解を伺う。

答

指導者には、指導者資格の取得や研修の実施を促進し、関係各所と必要な連携をしつつ、生徒の発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるよう留意する必要があると考える。また、指導者に暴力等の問題となる行動が見られた場合の対応として、競技団体等が設ける相談窓口など、公平・公正に対処できる機関に相談するほか、競技団体とは別に第三者が相談を受け付け、各競技団体等と連携しながら対応する仕組みについても検討が必要と考える。



中学校部活動の地域移行

戸田 龍起 議員



問

スポーツ庁の有識者会議は、公立中学校の運動部活動の指導を、休日は地域や民間団体などに委ねる地域移行を進めていくと提言したが、教育長の見解を伺う。

答

少子化により、学校単位でのスポーツの場の確保が難しく、生徒の部活動の選択肢が狭くなっている現状や、部活動が教員の長時間勤務の大きな要因となっている現状を考えると、持続可能な部活動の体制を維持していくための地域移行の方針は適切な措置と考える。市教育委員会としては、国の動向を注視しつつ、すべての生徒にスポーツ活動や文化芸術活動の機会が確保され、将来にわたり持続可能な活動ができる体制を整えられるよう努めていく。



バリアフリーの観点から 歩道橋の見直しを

高塚 伴子 議員



問

バリアフリーの観点から歩道橋の見直しを進めてはどうかと考えるが、見解を伺う。

答

市内には27橋の横断歩道橋があり、国・県・市のそれぞれの道路管理者が管理している。車椅子利用の方や高齢者の方が利用するには大変ハードルが高い施設であるが、市の管理下において、現在撤去したほうがよい横断歩道橋はないものと判断している。なお、五合橋線梅ノ木地先に設置されている鈴原歩道橋は、県が管理する横断歩道橋であり、特に東側の歩道幅員が狭く、歩行者等の離合も困難であることから、通学路会議などの機会を通じて、県に改善を求めていきたいと考える。



教員の欠員解消を

岸田 真佐人 議員



問

公立学校における教員の欠員解消の取組について見解を伺う。

答

市教育委員会では教員不足の解消に向けて、ホームページや民間求人サイトによる募集、大学への照会、他市町との連携、遠方在住の希望者に対してはリモートでの面接の実施、退職教員への声かけなどを行っている。加えて、教員の勤務環境の改善にも取り組んでいる。一方で、抜本的には国による教職員の定数増と職責に合った処遇改善が必要と考えており、都市教育長会議などから国に対し、強く要望していく。教員不足については今後も厳しい状況が続くと思われるが、全力を尽くして対応していく。



コロナ禍・物価高騰における 事業者支援

竹村 和人 議員



問

コロナ禍や物価高騰などの厳しい経済状況において市内経済の活性化が求められる中、国の支援が行き届かない市内事業者への今後の支援策について伺う。

答

市内中小企業者が実施する事業力向上の取組や感染拡大防止対策の分野を支援する「設備等導入補助事業」や、市内の消費喚起と事業者の商品・サービス等のPR機会を提供することによって地域経済の活性化を図る「事業者応援お楽しみギフト事業」を、今議会に補正予算として上程している。今後も、コロナ禍における市民生活や産業界の状況を見極め、必要な支援を適宜適切に実施し、市内産業の活性化に繋げていく。



家計の負担軽減策

里見 孝枝 議員



問

物価上昇による家計負担軽減策として、全世帯が恩恵を受けられる上下水道料金の減免等の対策が必要と考えるが、見解を伺う。

答

コロナ禍からの経済社会活動の回復を図るため、新たに創設された「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の臨時交付金の活用を視野に、市民・事業者の光熱費の経済的負担軽減に向け、速やかな措置が可能な本市水道料金の対応など、具体的な支援となる事業の提案に向けて準備を進めている。

▶6月24日に水道料金及び下水道使用料の基本料金・基本使用料の2カ月分(令和4年8・9月徴収分)の減免などに必要な補正予算案が提出され、可決されました。



平和啓発と平和の記録継承

久村 真知子 議員



問

平和を形成していくため、貴重な戦争体験を市民が直接聞くことができる場を設定することや、記録として残す必要があると考えるが、見解を伺う。

答

戦争体験者が減少する中、戦争の記録と戦争体験者の記憶を次世代に伝え、戦争の悲惨さ、平和の尊さを継承していくことが、今後ますます重要となるため、広報伊丹に掲載した戦争体験談や平和トークイベントの動画を記録・保存している。今年度は、戦争を知らない若い世代に平和の尊さを継承するため、エフエムいたみで市内高校生と戦争体験者の対談を行うことや、中国残留孤児の方の話を聞く機会を設けるなど、新たな取組を予定している。

一般質問



学校給食への支援

上原 秀樹 議員



問

新型コロナや物価高騰による家計への影響を考慮し、学校給食への支援として、本市でも一定の軽減策を行うとともに、給食費の無償化を国に求めることが必要と考えるが、教育長の見解を伺う。

答

学校給食の支援については、臨時交付金、就学援助制度等を活用するとともに、学校長に対し、保護者に過重な負担を課すことがないように指導するなどの対応を実施していく。また、教育基本法では教育の無償は授業料に限定されているため、現時点では無償化は考えておらず、支援が必要な児童生徒に必要な支援を行うことが必要と考える。
▶6月24日に追加議案が提出され、市内施設で実施されている学校給食等食料調達に対する支援補助が可決されました。



現行の減便ダイヤの見直し検討

山蘭 有理 議員



問

新型コロナ感染症の影響により、約2年近く続く減便ダイヤの運行体制について、見直しの検討を進めているのか。

答

バス車内が密になることを避けるため、一定のサービス水準を維持しながら減便したダイヤ運行を続けている。安定した経営を考えると直ちに便数を増やすことは非常に厳しいが、「市バス混雑情報提供システム」を利用して得られる情報を活用することにより、様々な角度で効率的で効果的なダイヤ編成を検討している。引き続きバスの利用状況の変化を見つつ、需要に見合った供給を行うことを基本に、ポストコロナをにらみながら検討していく。



新庁舎の開庁に合わせたPRの手法

土井 秀勝 議員



問

11月28日の新庁舎開庁に合わせた供用開始のPRについて伺う。

答

PRとして、広報特集号での案内とともに、市ホームページや案内リーフレット、そのほかケーブルテレビやFMラジオなどの各種メディアによる情報発信を予定している。また、その一環として完成PR動画の作成を計画している。さらに、本年4月にオープンした伊丹ミュージアムとのコラボ企画として、新庁舎開庁記念展を9月10日から11月6日まで開催する予定としている。この企画において、市の新たな顔である伊丹ミュージアムと新庁舎を市内外に情報発信する機会であると考えている。



性別による役割の固定化が起きない避難所運営を

杉 一 議員



問

避難所運営や災害ボランティア活動において、性別による役割の固定化が起きないための取組を伺う。

答

市避難所運営マニュアルでは、基本方針に避難者同士が協働の精神に基づき助け合い、自主的な避難所運営を目指すことを定め、男女共同参画の視点に配慮した避難所運営を行うこととしている。また、女性の視点を意識した避難所運営の重要性とともに、炊き出しや清掃など特定の役割が性別により偏ることがないように、避難者がお互いの活動を尊重し合いながら避難所運営をすることも記載している。今後も避難所運営の基本方針や、男女共同参画の重要性について自主防災組織による訓練で啓発していく。



退職自衛官の採用・配置を

花田 康次郎 議員



問

採用に係る経費を引き下げ、関係機関との連携や、防災・危機管理体制が、現在より強化される地域防災マネージャー※制度を活用した退職自衛官の登用について、市長の見解を伺う。

答

平時の業務では、自助や共助意識の基礎となる市民力向上支援といった役割を期待しており、災害時にはどのような形で自衛隊との連絡調整を担うのか、それらにどのように応えていただけるのかが肝要と考える。また、スキルや能力を、経常的な自治体の事務の中でも経験として生かせるのかという観点からも十分な検討が必要と考える。
※地域防災マネージャー…必要となる知識・経験等を有する者として国が証明した人材



小学校通学時の持ち物軽量化への取組

鈴木 久美子 議員



問

保護者から「ランドセルが重すぎて転倒してしまった」、「肩の痛みを訴えるようになった」などの声を聞く。暑い時期は水筒などの持ち物が増えることが想定され、さらなる持ち物の軽量化が必要と考えるが、取組状況は。

答

教員がその日に家庭で使用する教材等を明示し、家庭で使用する予定のない教科書等は学校に置いて帰るなどの取組を行っている。また、絵の具セット等の学習用具は基本的に学校に置いておくなど、学校や学年の状況に応じて持ち物の量をコントロールするなどの対応をしている。学年が上がるにつれて何を持ち帰るのか、児童が家庭での学習計画を基に自ら考え決めることも大切と考える。

※一般質問の発言順で掲載しています。

議案

審査

令和4年第3回定例会では、**議案は37件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案と、これらの議案が付託された3つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横に**A**とあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は右の議決結果をご覧ください。



総務政策常任委員会

○令和4年度 一般会計補正予算(第3号)



9億1,241万4千円を追加補正

コロナ禍における社会環境整備・地域経済活性化を推進
・新型コロナウイルスワクチンの追加接種(4回目接種)が行われます。
・小中学校へのAI機能を有したデジタル教材の導入、就学前施設におけるタブレットの整備などが行われます。
・中小企業等への事業力・生産性向上に資する設備費等の補助や中心市街地のにぎわいを創出し、商業活性化を図るためのイルミネーションイベントが実施されます。

○令和4年度 一般会計補正予算(第4号)



急遽、3億5,617万1千円を追加補正

コロナ禍における物価高騰等に直面する市民等を支援
・学校給食等食料調達支援事業
食材価格が高騰する中、食材費増加分を保護者負担へ転嫁することなく、給食の量と質を確保するため、小中学校給食センター等に対して食材費増加分が支援されます。
・公共料金等負担軽減事業
光熱費等が高騰する中、市民・事業者(官公庁を除く)を対象に、水道料金及び下水道使用料の基本料金・基本使用料について、1期・2か月分(令和4年8月・9月徴収分)を減免し、公共料金等の負担軽減が図られます。

その他の議案

- 市議会議員および市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正
- 市税条例等の一部改正
- 市役所内駐車場の指定管理者の指定



文教福祉常任委員会

- 北部学習センター条例の一部改正
- 公民館条例の一部改正
- 口腔保健センターの指定管理者の指定
- 保健センター駐車場の指定管理者の指定
- 物品の取得

委員会付託なし

- 鈴原小学校大規模改造(第1期)工事の請負契約
- 有岡小学校南棟大規模改造工事の請負契約
- 天神川小学校大規模改造(第1期)工事の請負契約
- サンシティホール大規模改修工事の請負契約
- 市営天神川団地3・5号館耐震補強他工事の請負契約
- 市営斎場大規模改修工事の請負契約の一部変更契約
- 市営玉田団地6・9号館エレベーター設置工事の請負契約
- 市営荻野団地(1〜3号館)耐震補強他工事の請負契約
- 障害者デイサービスセンター大規模改修工事の請負契約
- (仮称)鈴原交流センター整備工事の請負契約
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 保健センター等複合化施設整備他工事(建築工事)の請負契約の一部変更契約
- 学校給食の無償化を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 教職員定数改善と少人数学級推進を求める意見書
- 子どものために配置基準引き上げによる保育士増員を求める意見書

議決

結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第3回定例会の**議案37件**のうち**36件**は**可決・承認**されましたが、**請願1件**は**不採択**となりました。



議案31件
報告1件
意見書4件



請願1件

賛否の分かれた議案

A「『女性差別撤廃条約選択議定書』のすみやかな批准を国に求める意見書」の提出を求める請願

会派名 議員名	A
新改会	不採択
加藤 光博(議長)	—
高塚 伴子	○
杉 一	×
戸田 龍起	×
土井 秀勝	×
花田康次郎	×

公明党	
北原 遼男	×
山本 恭子	×
篠原 光宏(副議長)	×
竹村 和人	×
里見 孝枝	×
永松 敏彦	×

フォーラム伊丹	
保田 憲司	○
山蘭 有理(監査委員)	○
大津留 求	○
岸田真佐人	○
高橋 有子	○
安藤なの香	○

創政会	
新内竜一郎	×
吉井 健二	×
佐藤 良憲	×
川井田清香	×
鈴木久美子	×

日本共産党伊丹市議会議員団	
上原 秀樹	○
久村真知子	○

伊丹維新・無所属の会	
齊藤 真治	×
佐竹 璃保	×

会派に属さない議員	
小西 彦治	○
○…賛成 ×…反対 ―…議長は決表に加わりません。	



都市企業常任委員会

- 男女共同参画センター条例の一部改正
- 労働福祉会館条例の一部改正
- 地方活力向上地域における固定資産税の税率の特例に関する条例の一部改正
- 高齢者、障害者等の移動等円滑化のための特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正
- 市営住宅条例の一部改正
- 病院事業の設置等に関する条例の一部改正
- 令和4年度 病院事業会計補正予算
- 令和4年度 水道事業会計補正予算
- 令和4年度 下水道事業会計補正予算
- 「『女性差別撤廃条約選択議定書』のすみやかな批准を国に求める意見書」の提出を求める請願 **A**

市議会からのお知らせ

議会運営委員会からの答申

～9月定例会より決算審査特別委員会に

分科会方式を導入～

加藤議長より、昨年6月11日に戸田議会運営委員会委員長に諮問された事項のうち、予算・決算特別委員会のあり方(分科会方式)について、本年5月23日に答申書が提出されました。

この答申を受け、本年9月定例会より決算審査特別委員会に分科会方式を導入する予定です。



答申の様子

議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動をしていくために、ご理解とご協力をお願いいたします。

アプリ「マチイロ」で
伊丹市議会だより
をご覧頂けます



マチイロ



※アプリのダウンロード・利用は無料ですが、通信費は利用者負担になります。また、アプリの管理は運営会社によるものです。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。

希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。

☎072-772-0221 ☎072-780-2897

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

全国民間空港所在都市議会協議会

当協議会は、空港が所在する56都市の議会議長により組織され、空港の整備促進や周辺地区住民の民生安定、これに関連する財政問題等の解決を図ることを目的としています。



定期総会の様子

5月26、27日に役員会と定期総会が開催され、今年度の事業計画や予算が決定されました。今後、事業計画をもとに、会長である本市が中心となって国などに要望活動を行うなど、課題解決に向けて取り組んでいきます。

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	9/1	2	3
					議会運営委員会	
4	5	6	7	8	9	10
	第4回定例会 本会議招集日 議員総会			議会運営委員会 本会議第2日 (議案質疑)		
11	12	13	14	15	16	17
	総務政策 常任委員会	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会		本会議第3日 (代表質問)	
18	19	20	21	22	23	24
		本会議第4日 (代表質問)	本会議第5日 (個人質問)	本会議第6日 (個人質問)		
25	26	27	28	29	30	10/1
	議会運営委員会 本会議第7日 (個人質問等)		決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	
2	3	4	5	6	7	8
	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会	決算審査 特別委員会			
9	10	11	12	13	14	15
		決算審査 特別委員会				
16	17	18	19	20	21	22
	議会運営委員会 本会議最終日 議員総会					

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行:伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所議会棟2階)

☎072-780-4090 ☎072-784-8092 ☎http://www.city.itami.lg.jp/

伊丹市議会だよりは85,900部作成し、印刷費は1部あたり7.0円です。